



緑地公園 (藤久保)

他の公園にはないバーベキュー施設があります(要予約)。多くの木々に囲まれ、木漏れ日のなかでベンチに座り、休むことができる憩いの場です。夏はセミやカブトムシなどの昆虫採集する子どもたちの姿が見られます。

DATE
住所 / 藤久保 1121-1
面積 : 6,662㎡



三富今昔村 (上富)

埼玉県「体験の機会のある場」認定の里山環境教育フィールド。施設内にあるリサイクル工場や森、農園などで五感を使った体験を通して、自然との共生を学ぶことができます。国内・海外の大人から子どもまで訪れています。

DATE
住所 / 上富 1589-2
☎ 049-259-6565
営業時間 10:00 ~ 17:00
定休日 / 毎週日曜日
入村料 / 一人 500 円



竹間沢東公園 (竹間沢東)

町内で最も広い公園です。芝生が広がる広場、すべり台などの遊具も設置。休日になると芝生の上でお弁当を食べたり、かけっこをして遊ぶ家族の姿があります。子どもからお年寄りまでゆったりできる公園です。

DATE
住所 : 竹間沢東 21-1
面積 : 9,343㎡



こぶしの里 (竹間沢)

斜面林の中に散策道が設けられ、湧水が池や小川に流れ込んでいます。ザリガニ釣りや昆虫採集、風景を写真に収める人も。初夏にはホタルが舞い、林に囲まれた東屋で自然を満喫することができます。

DATE
住所 : 竹間沢 1081-1
面積 : 8,918㎡



ヤマを感じる。

(写真) 緑に囲まれた緑地公園脇の道。緑のトラスト保全地として整備され、散策路が完成しました。

三芳町の農家の皆さんは林を「ヤマ」と呼ぶ。

一般的に「ヤマ」というと高低差がある「山 (mountain)」を連想する場合がありますが、三芳町の農家の皆さんは平地林 (雑木林) のことを「ヤマ」と呼びます。語源的

には「ヤ」は大きい、「マ」は恵みとされています。「大きな恵み = ヤマ」。三芳町の農家の皆さんにとって平地林 (ヤマ) は、先人から受け継がれてきた、大きな恵みという意味になります。



その昔、先人たちが切り開き長い年月をかけてこの町を木々があふれる緑の大地にしました。武蔵野の面影を残す平地林 (雑木林) の豊かな緑は、三芳町の魅力の一つです。その魅力を活かした公園や施設が町内各所にあり、遊歩道やベンチ、遊具がある公園を散策したり、お弁当を広げて家族でのんびりと過ごすことができます。緑地公園ではカブトムシやクワガタなどの昆虫採集、こぶしの里では野鳥のさえずりを楽しむこともでき、夏にはザリガニ釣りを楽しむ子どもや親子の姿が見られます。町内には多くの平地林があり、落ち葉で作った腐葉土が豊富にあるため、カブトムシの幼虫が育つには最適な環境。三芳町ではカブトムシの幼虫を「まんじゅう虫」と呼ぶほど、カブトムシがいるのが当たり前となっています。自然に触れ合うことができます。トカイナカ三芳町に足を運び、里山の魅力を感じてみませんか。